

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	木材振興室長 大國 敏彦	電話番号	0852-22-5167
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	木質バイオマス県内全域集荷体制支援事業		
目的	(1) 対象	森林組合等の林業・木材産業関係者、市町村	
	(2) 意図	地域材を活用した木質バイオマス発電の事業化にあたり、効率的に未利用木材を集荷・乾燥し、長期・安定的に燃料チップを供給できるシステムを構築する。	
事業概要	木質バイオマス発電所が稼働するなど、木質バイオマスの利用が進む中で、県内で発生する林地残材を効率的かつ安定的に需要先に供給することを目的に、木質バイオマスの集荷体制整備に要する経費の一部を支援する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	林地残材利用量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値				0.00	8.50	
式・定義	バイオマス発電所へ供給される林地残材量		実績値				0.00		
			達成率				0.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値						
			実績値						
			達成率						

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	0	118,380
うち一般財源 (千円)	0	118,380

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

②困っている状況が発生している「原因」

③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）